

介護保険制度改正の動向

■目指す方向性

地域共生社会の実現／2025年に加え2040年への備え

■改革の3つの柱

1. 介護予防・地域づくりの推進 ～健康寿命の延伸～
／「共生」・「予防」を両輪とする認知症施策の総合的推進
2. 地域包括ケアシステムの推進
～地域特性等に応じた介護基盤整備・質の高いケアマネジメント～
3. 介護現場の革新 ～人材確保・生産性の向上～

■3つの柱を下支えする改革

1. 保険者機能の強化 + データ利活用のためのICT基盤整備
2. 制度の持続可能性の確保のための見直し

戦略ビジョン

戦略ビジョン4 長寿 (Chōju)

高齢者が人生100年時代に元気で活躍し、心豊かに暮らす東京

【戦略4 長寿社会実現戦略】

- ・高齢者が元気に暮らし、活躍できる地域づくりを進める
- ・一人ひとりの「働く」「学ぶ」「地域活動」を応援する
- ・認知症に向き合い、「共生」と「予防」の両面の対策を進める

2025年から2040年に向けた人口推移（高齢者の増加（特に前期高齢者）、労働人口の減少）

- ・大多数を占める健康で元気に活躍している高齢者の健康維持と社会参加に着目
- ・労働人口の減少を受けた介護現場の生産性向上について重点的な取組

地域包括ケアシステムの検証とさらなる深化に取り組むため、保険者機能の強化が必要

※保険者による地域課題を分析、システムが円滑に機能しているかPDCAによる検証とマネジメント

新型コロナウイルスの影響を踏まえた計画の策定

計画の理念 地域包括ケアシステムの理念

「すべての高齢者が、支え合いながら、いきいきと心豊かに、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる東京」

すべての高齢者が、地域で支え合いながら、①経験や能力を活かして居場所と役割を持ち、生き生きと活躍し、心豊かに暮らし、②自らが望む暮らし方を主体的に選び、安心して暮らし続けることができる東京の地域づくりを地域特性に応じて推進していく

計画の構成（重点分野）について

■ 7つの重点分野とそれを下支えする取組

元気で暮らす いきいきと暮らす	①介護予防と社会参加	通いの場等をはじめとする一般介護予防事業の更なる充実 元気高齢者対策の推進	<ul style="list-style-type: none">・フレイル予防（健康づくり）・高齢者の社会参加（就業、生きがい、地域活動等）
安心して暮らし続ける	②介護サービス基盤の整備	2025年及び2040年の介護サービスの見込みと介護施設の整備目標の設定	<ul style="list-style-type: none">・介護サービス量の見込み・介護保険制度の適正な運営・居宅サービス、施設サービス、地域密着サービスの整備
	③高齢者の多様な住まい方	セーフティネット法に基づく、居住支援の充実 サ高住の供給	<ul style="list-style-type: none">・高齢者の居住支援（セーフティネット法）・サービス付き高齢者向け住宅等の確保・高齢者向け施設の確保（再掲）・福祉のまちづくり
	④介護人材対策の推進	2025年及び2040年の需給推計 少子高齢化時代を見据えた取組の強化（介護職場環境の改善等）	<ul style="list-style-type: none">・介護人材の確保・定着・介護人材の育成
	⑤地域生活を支える取組の推進	見守りや生活支援等の地域での支え合い等の仕組みづくりを支援	<ul style="list-style-type: none">・生活支援サービスの充実・見守りと安全安心の確保・権利擁護・虐待等への対応
	⑥在宅療養の推進	地域における在宅療養体制の確保 在宅療養への円滑な移行（入退院支援）	<ul style="list-style-type: none">・在宅療養体制の確保・在宅療養生活への円滑な移行の促進・訪問看護ステーションへの支援
	⑦認知症対策の総合的な推進	新たな認知症施策推進大綱に基づき、「共生」と「予防」を両輪として施策を推進	<ul style="list-style-type: none">・認知症の容態に応じた適時・適切な支援の提供・認知症の人と家族を支える人材の育成・認知症の人と家族を支える地域づくり

保険者機能の強化（地域包括ケアシステムのマネジメントと検証、地域包括支援センターの機能強化）